



2016～2017年度
国際ロータリーのテーマ
人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度
名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
さらなる前進

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

Weekly Report

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：八木沢幹夫
幹 事：関谷 俊征
クラブ広報委員：星野 一郎
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1788回例会

～ロータリー親睦活動月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2017年6月1日(木) 晴れ 第41回

司 会：安岡克明会場委員
斉 唱：「君が代」「奉仕の理想」
ゲ ス ト：名城大学院講師 NPO法人きらめき未来塾
ソプラノ歌手 下垣真希さん

会長挨拶

八木沢幹夫会長

熱中症について、話をします。熱中症は、夏の暑い日差しの下で激しい運動や作業をするときだけでなく、身体が暑さに慣れない梅雨明けの時期にも起こります。屋外だけでなく、高温多湿の室内でも時にみられます。救急医学会の集計によると、2015年に熱中症で搬送された人は50,000名で、受診された人は285,000名です。しかし、実際はさらに多いと思います。身体の中の産熱(身体が熱を作る働き)と放熱(身体の外に熱を逃がす働き)のバランスが崩れた時に熱中症となります。熱失神は、皮膚血管の拡張により血圧低下、脳血流量の減少でめまい、一時的失神、顔面蒼白の状態になります。つぎに熱けいれんの状態になり大量の汗をかき、水分補給のみでは血液の塩分濃度の低下が起こり、足、腕、腹部の筋肉に痛みを伴う痙攣が起きます。ここまでは、休ませることにより快方に向かいます。更に進み熱疲労、熱射病となり全身倦怠感、悪心、嘔吐、頭痛、熱射病では中枢機能異常が起こり、意識障害、呼吸反応が弱くなり、ふらつきもでてきます。熱疲労、熱射病では医療機関への搬送が必要です。注意が必要な季節となりました。



出席報告

亀井直人出席委員

会員66名 出席45名(出席計算人数48名)

出席率 80.4% 5月25日は補填により 87.5%

ニコボックス

亀井直人ニコボックス委員

- ・本日6月1日をもって80才の大台となりました。よろしくお祈いします。
平野 哲始郎さん
- ・6/26 誕生日です。
長坂 邦雄さん
- ・来月は私の誕生日です。
渡辺 喜代彦さん
- ・新会員の永草 孝憲(ナガサ タカノリ)さんが入会されます。皆様宜しくお願いします。私ごとですが6月13日は誕生日です。又、6/8からアトランタ世界大会に行つて来ます。
松波 恒彦さん
- ・5月29日は、結婚記念日でした。
長瀬 憲八郎さん

- ・6月4日は15年目の結婚記念日です。いつも世話になりありがとうございます。
鶴田 浩さん
- ・6月5日は家内の誕生日です。
入江 理さん
- ・先日は妻の誕生日にお花をありがとうございました。今度の日曜日に伏見の電気文化会館のコンサートホールでバッハのモテット3番ファンタジー36番を歌います。本日「ばらの騎士」の割引の案内を入れていただきました。
平野 好道さん
- ・朝一番で三好カントリー西コースを回ってきました。半年振りでしたが景色が変わってました。
内田 久利さん
- ・今月ですべてが終わります。
関谷 俊征さん
- ・29日コンペに参加していただいた皆様ありがとうございました。

中野 健二さん

- ・森裕之さん、森定興商株式会社、創立90周年、おめでとう御座います。
酒井 俊光さん
- ・内田さん、先日のコンペではお世話になりました。勇生さん、手袋ありがとうございました。
田中 宏さん
- ・下垣さん今日は宜しく。
岩田 修司さん
- ・先回の試合勝ちました。次も勝つように練習します! 鈴木 実さん
- ・永草さんの入会をお祝いします。

梅村 昌孝さん 湯澤 信雄さん

新会員入会式

新会員入会式にてバッジとネームプレートが新会員に渡されました。バッジはロータリアンの誇りと奉仕をさせて頂く謙虚な気持ちをもつことの証です。名札は会員、ビジター、ゲストの皆さんに名前を覚えて頂くのに役立ちます。



永草孝憲さん

株式会社永賢組 代表取締役社長
職業分類:建設業

初めまして。株式会社永賢組の永草孝憲と申します。父が5年前に他界し、現在35歳という年齢ですが、社長をさせていただいております。まだまだ分からないことが多いと思いますが、皆様から学んで参りますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願いします。

幹事報告

関谷俊征幹事

- ・本日13:40から第12回理事会をヒルトン名古屋4階「梅の間」にて行います。
- ・6月8日(木)18:00からなごやか例会をヒルトン名古屋4階「桜の間」にて行います。

命と平和の尊さを歌う

皆さんこんにちは。天皇陛下即位10周年の時には東海大会で君が代の独唱をさせていただきました。昔の話ですが、私はロータリークラブからドイツへ行かせていただいたことがあります。おかげで国を思う気持ちを学んだような気がします。私がドイツに行った頃は東西分断されている歴史の激動期で、ベルリンの壁が崩壊して統一される直前に日本に戻ってきました。

クラシック音楽は「クラシックのクラは”暗い”」の暗、病気のシック、音が苦しいと書いて音が苦」といったイメージで修行のように感じている人が多いのですが、良い波動の音楽だと思っていただけで構いません。実はモーツァルトを聴かせて育てると植物がよく育つという研究結果が出ており、中でもプチトマトとサニーレタスはアイネ・クライネ・ナハトムジークが好きだと分かっています。また、アメリカで犯罪が絶えない道があり、市民からアイデアを募集した時に「一日中クラシックをかけたらどうか」という提案があり、それを実行したところ本当に犯罪が激減したことがあります。音楽が人間に与える影響は考えている以上に大きいのです。生の演奏会は動いてはいけない等厳しい掟がありますが、電話も入らず良い波動の音楽が流れているので、そこに身を置き自分自身と向き合う時間だと捉えていただければ一層足を運んでいただけたらと思います。

私が暮らした時代のドイツは針のむしろの戦後でした。1980年代のドイツは周りが全部違う国だったので、いつ戦争が起きてもおかしくなく常に緊張感がありました。また、日本のように四季が移っていく美しさはヨーロッパではなかなかありません。それを向こうにいる時に感じ、やはり日本は素晴らしいと思いました。それまで私はあまり日本の歌を歌うことがなくオペラやドイツ楽曲を歌っていたのですが、2000年のハノーバー万博の時に1万5千人の前で日本の四季の歌を歌わせていただきました。皆さん真剣に聞き入ってくれ、日本の歌は素敵だと非常に盛り上がっていただけました。

ドイツ人は議論好きです。はっきり語れる言葉で大人同士が大議論しますが、それを子供の頃から聞いているので中学生頃になるとすっかり自分の意見や考えを言葉で表明できるようになっています。陸続きでいつ自分たちが攻められるか分からないからこそ、文化は通行手形なのです。それがヨーロッパを形作っていると言えるかもしれません。日本は周りが海で、文化を主張する必要がなく簡単に様々なことを変えてきました。しかし、先人たちが刻んできた歴史の重みをもう一度今の時代に考えるべきではないかと、文化の大切さを感じました。

戦後、ドイツは統一に向け突然動き始めました。当時私はラジオのディスクジョッキーをしていたのですが、毎日ニュースが変わっていく様子を、来る原稿ほとんど直訳で読み上げていく日々が続きました。ベルリンの壁はそもそも、東ベルリンあるいは東ドイツの人々が西ベルリンに逃げ込み外国の領事館に亡命するというのが大変な勢いで起きたために、1961年に築かれたものです。そして1989年、すぐに壁が開けられるという誤報があり市民は一斉に壁へ殺到しました。壁の国境警備隊は報道を聞いておらず暴動で危ないと思い、全部の壁門を開けてしまったのです。そうしてあれほど大変だったベルリンの壁が一滴の血も

流さず、世界一幸せな勘違いで開きました。ドイツは45年間の苦難の道のりを、分断された状態でずっと暮らしてきました。そういう中で私は日本はなんて平和な国だったんだろうとしみじみ感じました。

私は叔父を長崎の原爆で亡くしているのですが、その叔父を亡くしたことすらあまり家族で話をすることはありませんでした。叔父は「長崎の鐘」の原作者である永井隆先生の家の下宿していた時に被爆しました。永井先生は原爆で奥様を亡くし自分も幼い子供二人を残して死にゆく運命の中で、それでも人を許そう、そしてできるなら自分の事のように愛して、そうすることで初めて平和は訪れるということを伝えた人です。「怒りの広島、祈りの長崎」と言われるその象徴の中心になっています。先程のハノーバー万博の時に日本の歌に目覚めてから、初のCDに「長崎の鐘」を入れました。そのCDを叔父を看取った叔母の所へ持って行ったところ、終戦から50年以上経って初めて叔母が、叔父がどのように苦しみながら亡くなっていったかを話してくれました。それを聞いた時、私は叔父の何倍ものうのうと生きてきて、ドイツで見たあの現実が頭の中を巡り、どうしても歌い伝えなければならないと思うようになりました。ドイツ統一の時には芸術家たちが中心となりデモの先頭に立っていたのですが、音楽は人類普遍のメッセージを伝えるものであり、平和や愛を伝える人間は社会の中でも普遍的な価値観を伝える義務があるというような姿を見せられたような気がしました。そこから「長崎の鐘」を色々な物語とともに伝えていきます。

8月6日は広島の日です。私が塾長をしているきらめき未来塾という認定NPO法人の合宿を8月6日から今年初めて東北で開催しますが、1日前倒しで8月5日に電気文化会館で平和リサイタルをします。「ああモンテンルパの夜は更けて」という曲がありますが、これはモンテンルパという収容所で108人が6・7年間生きながらえており、この曲を聴いた当時のキリノ大統領が感動して恩赦を与えた歌です。そうした歌を皆さんに聴いていただき、ぜひ平和を祈る気持ちを共有できたらと思います。私がコンサート活動を続けられたのは、この場にいる協和ケミカルの岩田社長はじめ多くの企業に協賛し支えていただいたおかげです。こんなに歌ってこれるとは思いもせず常に感謝しています。1人でも多くの方に是非コンサートに来ていただければと思います。本日はどうもありがとうございました。



例会のご案内

■今週の行事

6月8日(木) なごやか例会

場 所：ヒルトン名古屋 4 階「桜の間」
時 間：18：00～20：00

■次週の卓話

6月15日(木)

テ ー マ：新会員イニシエーションスピーチ
会員卓話：入江理さん

■次々週行事

6月22日(木) 第5回クラブフォーラム